

# 川口市立 グリーンセンター 植物見どころマップ

## ① フクジュソウ (キンポウゲ科フクジュソウ属)

見頃：2～4月

早春に花を咲かせ、春の訪れを知らせる植物として江戸時代から親しまれています。花は陽が当たって温度が上がると開き、陽が陰ると閉じる特徴があります。



## ② アセビ (ツツジ科アセビ属)

見頃：2～4月

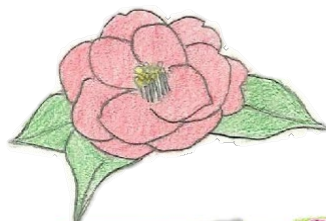
つぼ型で白色やピンク色の小さな花をたくさん咲かせます。葉や茎に有毒成分があり、誤って食べた馬が酔ったような状態になることから、漢名では「馬酔木(あせび)」と当てられるようになったとされています。



## ⑥ ツバキ (ツバキ科ツバキ属)

見頃：2～4月

名前の由来は諸説ありますが、一説によると光沢のある艶やかな葉から名付けられた「艶葉木(つやはき)」が変化したものと言われています。サザンカとの分かりやすい違いは、散る際に花首ごと落ちることです。



## ⑦ アンギョウカンザクラ (バラ科サクラ属) 見頃：3月

川口市安行から広がったことからこの呼び名がついています。カンヒザクラとオオシマザクラを交雑したものと推測されています。ソメイヨシノよりも早い時期から花を咲かせます。



## ⑤ ネコヤナギ (ヤナギ科ヤナギ属)

見頃：3～4月

ふわふわとした花穂(かすい)が猫のしっぽに似ているため、この名前が付けられました。ヤナギの仲間でも最も早く開花します。



## ④ クリスマスローズ (キンポウゲ科クリスマスローズ属)

見頃：3～4月

ヨーロッパや西アジアが原産国とされています。現地ではクリスマスの時期に花を咲かせることからこの名前が付けました。



## ③ ウメ (バラ科サクラ属)

見頃：2～3月

早春に咲くことから人気が高いです。中国原産ですが、日本で親しまれるようになったのは奈良時代からといわれています。

